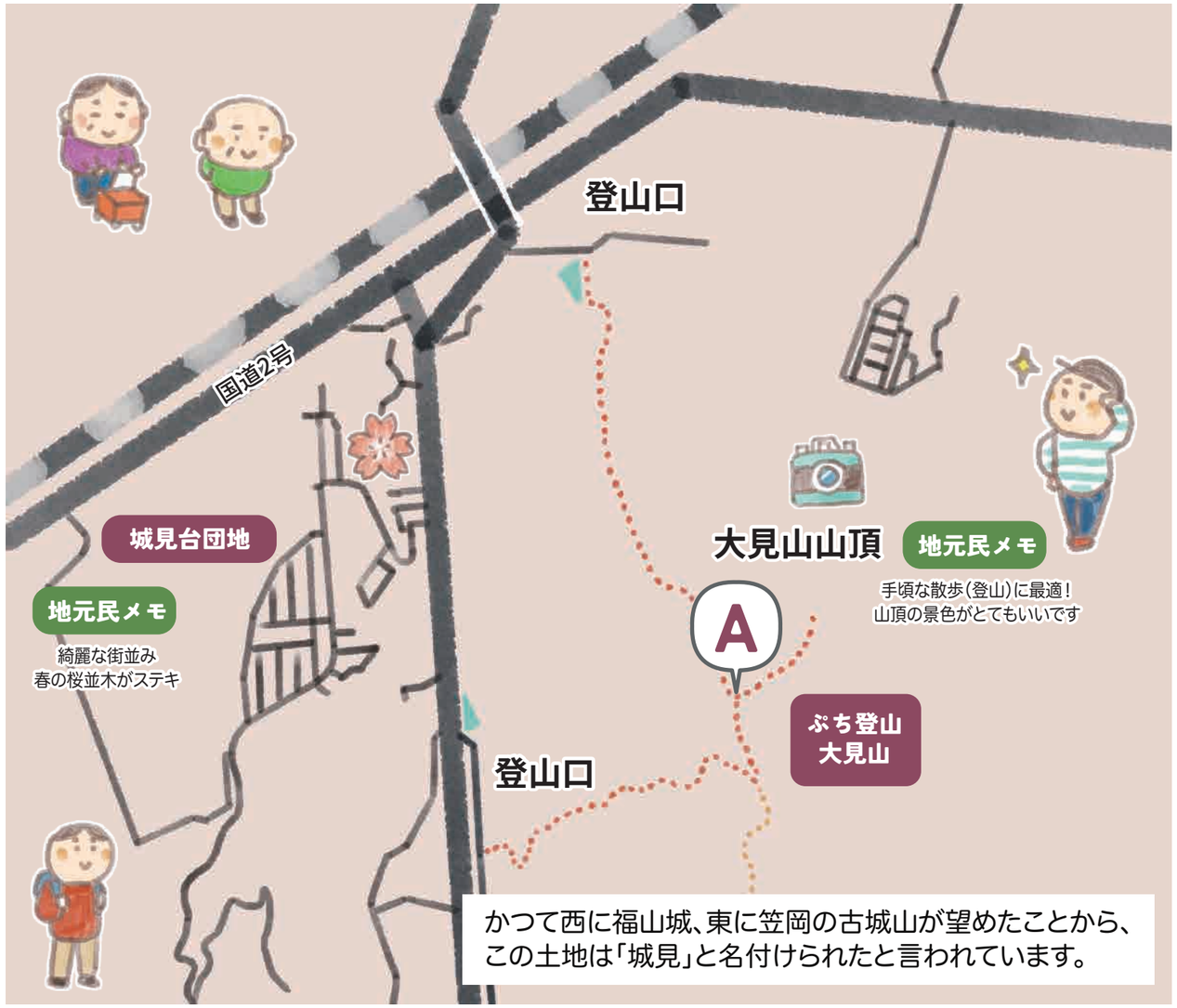


かつて西に福山城、東に笠岡の古城山が望めたことから、
この土地は「城見」と名付けられたと言われています。

その他、地元民メモ

おひさま認定こども園
岡山県笠岡市用之江2318-2



城見地区の子供達が元気に通っています

用之江の花畑
岡山県笠岡市用之江(国道2号線沿い・用之江交差点付近)



四季折々の花を植えています。
詳しくは
まち協HPで!

城見地区
まちづくり協議会
ホームページ

城見なかよしクラブ

学童の子供達がおすすめしたい城見地区



- 宮下公園
- 菅原神社
- 城見台集会所の公園
- 城見地区を歩くのが好き
- 茂平の道
- 用之江の坂
- 秋祭り
- 夏祭り
- 虫取りできる



笠岡の”ステキ”を
見つけにいこう!

歩いて発見!



街の魅力、再発見!

地域の人の
おすすめスポット
掲載!

ぶらり、のんびり
まち歩き♪

かさおか まち歩きマップ

笠岡市城見







デザインで地域をもっと楽しく!

令和8年度笠岡市市民活動
未来づくり事業補助金採択事業

主催:かさおか皆のマッププロジェクト
協働:城見地区まちづくり協議会

笠岡市城見地区
用之江

…ウォーキングコース
約1時間30分

空を映し、季節を映し、人の暮らしを映す。
用之江の棚田には、ゆっくりとした時間が
流れています。

PICK UP! 01
気になってた建物！
ぜひ足を運んで欲しい
旧2号線沿い

歴史ファン必見！
城見地区に残る旅人の休息地

1. 社稷（しゃしょく）

歴史ロマンが息づく、国内でも超レアなスポット

「社稷（しゃしょく）」という珍しい名前の神さまをご存知ですか？
実はこれ、土地の神様と五穀の神様を祀る、古代中国由来の
とても貴重なものです。地域誌『城見のあゆみ』によると、
この貴重なスポットが茂平に3基、用之江に1基、
福山市大門町に5基、福山市加茂町に1基、有田に1基、
このエリア周辺だけに集中して残されています。


1.社稷

2. 四つ堂（よつどう）

**昔の旅人に思いを馳せる、
おもてなしの心が詰まった癒やしの空間**

昔はこの場所で
お接待が
あったそうです


2.四つ堂

街道沿いに佇む「四つ堂」は、かつて往来する旅人たちが足を休めたノスタルジックな休憩所です。
昔はお堂に立ち寄ると温かいお茶が振る舞われ、なんと「一泊だけ」なら無料で泊まることも
許されていたといいます。当時の人々の温かい「おもてなしの心」が今も空気の中に溶け込んで
いるかのような、ホッと心が和む癒やしの歴史スポットです。

3. お大師様（おだいしさま）

地域を見守り続ける、心優しき守護仏

古くから地元の人々に「お大師様」と親しまれ、
大切に守られてきたお姿がここにあります。

一歩足を踏み入れれば、
穏やかで静かな時間が
流れ、日々の忙しさを
忘れさせてくれます。


3.お大師様

PICK UP! 02
ご利益ありそう！
ぜひ足を運んで欲しい
寺社

菅原神社





用之江「菅原神社」の魅力を徹底解剖

近隣の吉浜地区にあるカキツバタの名所とは一味違う、
城見地区（用之江）の隠れた名社「菅原神社」。万治2年（1659年）に
京都の北野天満宮から勧請され、360年以上にわたり地域を
そっと守り続けてきた歴史ある神社です。



コヒガンザクラ

【春限定】車窓からも見える！一足早く咲く「幻のピンク」

参道の入り口を彩る見事な一本桜。実はこれ、一般的なソメイヨシノよりも一足早い3月下旬に満開を迎える
「コヒガンザクラ（小彼岸桜）」です。驚くほど鮮やかなピンク色をしています。その美しさは、神社の前を通る
国道2号線からはもちろん、JR山陽本線の電車の車窓からでもパッと目を引くほど。

花見の様子を
YouTubeで
見れます

＼ 菅原神社内 ／

龍王神社 C 水神様



龍王神社は神社の下にカメがあり、そこに水が貯まると一年、水に困らないという言い伝えがあります。

妙見社 D 眼病に霊験あり



貴船（貴布祢）神社 E 水神様



上谷・青木組荒神社 F 稲の神様



【晴れの国】に隠された、知られざる「雨を乞う」歴史ロマン

「晴れの国」として有名な岡山県。しかし、ここ城見地区には、ギリギリの気候を生き抜いた先人たちの神秘的な「水と雨の信仰」が今も深く息づいています。実は、年間雨量が500mmで畑作、1000mmでようやく稲作ができると言われる中、このエリアはまさにその瀬戸際。そのため、人々は恵みの雨をもたらす伝説の「龍王（りゅうおう）」を祀り、祈りを捧げ続けてきました。雨を乞い、自然と対話してきた城見地区。そんな神秘的な謎と歴史ロマンを紐解く、特別な旅へ出かけてみませんか？

貴船（貴布祢）神社 E
上谷・青木組荒神社 F
棚田
七隠れの小道
龍王神社 C
妙見社 D
地元民メモ
菅原神社のコヒガンザクラがキレイ
※2号線からもキレイ
城見小学校
菅原神社 B
用之江公会堂
1 社稷（しゃしょく）
2 四つ堂
3 お大師様
A
国道2号
地元民メモ
岩下神社から用之江が一望できる
昔は「岩の下から登る」と言われたような険しい山道でしたが、現在は城見台団地から、すぐにアクセスできるよう整備されています。
弁財天 H
岩下神社 G

岩下神社 G ＼ この立地から見下ろすパノラマの絶景 ／

境内からの素晴らしい景色！眼下に見える風景

国道2号線やJR山陽本線、城見小学校、菅原神社、
そして井原・坪生（福山市）方面へと続く県道などが一望できます。

鉄道ファンにもおすすめ

走る電車を上から見下ろせるため、ちょっとした鉄道の撮影スポットです。

弁財天 H 水の神様 ＼ 城見地区の弁財天の特色 ／

水の神様としての信仰

弁財天は七福神唯一の女神として「金運」や「芸事」の神と思われがちですが、
元々はインドの河の神（サラスヴァティ）に由来する「一級の水神（みずがみ）」です。

笠岡市城見地区

大宜（おおげ）

…ウォーキングコース
約1時間30分



※イメージです

かつてこの地には、三方を海に囲まれた天然の要害にそびえ立つ戦国時代の名城「大橋山城」がありました。武人たちが駆け抜けた城下の熱気と、古くから息づく神仏への信仰が交差する、知られざる歴史ロマンの隠れ里です。

かつては海だった！大宜に眠る歴史ロマンを巡る

PICK UP! 01 理由に納得！
ぜひ足を運んで欲しい寺社

大宜の歴史を見守る「明神様」

羽方（はかた）神社

羽方神社 A

瀬戸内海の海上交通の要所として栄えた笠岡ならではの歴史エピソード

「羽方（はかた）」という名は、はるか昔、九州・博多からやってきた船が、大嵐や困難を避けるためにこの大宜の地に一時避難したことに由来すると伝えられています。





昭和初期には子供相撲が盛んに行われていました

PICK UP! 02 民間信仰が熱い！
かつての主要道路沿い

巡礼の道と巨樹が紡ぐ神仏の祈り

D E

四つ堂・坂東33観音8番

東国巡礼を模した「坂東三十三観音」の石仏が並び、傍らには「バベの木（ウバメガシ）」の雄大な巨木が緑の屋根を広げています。

四つ堂となりの薬師堂 病気平癒

光明真言曼荼羅（まんだら）石

古くから神仏を敬ってきた大宜のシンボルです。刻まれた光明真言が、訪れる旅人の心をすっと洗ってくれるような不思議なパワースポットです。

宝燈 G

宝燈（ほうとう）

大宜の集落や往来を優しく照らしてきた石造りの灯籠です。

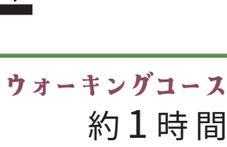
太歳神社

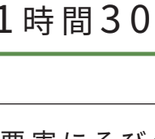
C

「おさんさま」の伝説

太歳神社・五輪塔

「歯痛を治してくれる神様」





「おさんさま」は、城山（大下）の城主の娘として生まれましたが、若くして歯の病で亡くなりました。その後、人々から“歯痛を治してくれる神様”として信仰され、多くの人が祈りを捧げるようになったと伝えられています。

艮神社（うしとらじんじゃ）

集落へ入る災いや悪霊を遮断

岡山県神社庁に登録される由緒ある村社。強力な厄除けと開運を祈願。

艮神社 H





水分神社（みくまりじんじゃ）

命の水を司る豊穣の守り神

水難避けと五穀豊穣

龍王様

天候と海を支配する龍神

水に関わる仕事の運気を向上

地神

大地と暮らしを包む守護神

五穀豊穣と家内安全

祠の下には「甕（かめ）」が置かれています。この中の水は、どんな時も決して絶やしてはならないという守り事が伝えられています。

珍しい五角柱の形
大宜地区に唯一残る、大変珍しい五角柱の地神塔



荒神（こうじん）様

四年に一度、神楽が奉納される

大宜には八荒神が祀られていたそうですが今はここだけだそうです。荒ぶる神であり、祀り鎮めることによって霊験あったと言われています。





大橋山（おおはしやま）城跡
戦国時代の城跡です。
かつて三方を海に囲まれた天然の要害で、高田河内守の一族が拠点とした海の城の記憶を今に伝えています。

↑大橋山城跡を見る

B







6番札所

5番札所

たまごを供える風習があります
蛇様

羽方神社 A

地元民メモ
大宜集会所から見る大宜池も良い！

大宜集会所

C 太歳神社 五輪塔

D E 四つ堂 板東33観音8番 薬師堂 光明真言塔 曼荼羅石

大宜池



四つ堂







宝燈 G

H 艮神社 水分神社 龍王様 地神 荒神様

地元民メモ
艮神社から眺める大宜池は心が落ち着く



才の峠と賽（さい）の神
国道から見上げることができる、歴史ある峠の境界です。古来、集落に悪霊や災いが入り込むのを防ぐために祀られた「賽の神（道祖神）」が、今も優しく往来を見守っています。

F

国道2号

才の峠（せいのたわ）と賽（さい）の神を見る→

才の峠と賽（さい）の神
城見トンネルの上（山頂）



笠岡市城見地区
茂平

…ウォーキングコース
約1時間30分

貧しさと戦いながらも海を切り拓き
干拓によってたくましく発展してきた歴史を持つ地区です。

PICK UP! 01 歴史スポット
ぜひ足を運んで欲しい寺社

茂平の街と広大な干拓地を一望する高台の社

八幡神社

かつての海と現代の街並みを見下ろす特等席



海上安全や大漁繁栄の神様

100段の石段を登りきると広がる、茂平の街並み。かつて眼下に海が広がっていたこの丘は、1964年に古墳時代の石棺や人骨（宮山古墳）が発見された、古い土地です。

八幡神社 A

男と女で対になっている珍しい札所です。



茂平（新）四国八十八ヶ所霊場

茂平の霊場は、四国八十八ヶ所を模しています。
札所は茂平の集落内の各所に分散して配置されています。
八幡神社の境内にも、いくつかの札所（石仏）が設置されています。

恵比寿さん

恵比寿さん B

屋根に踊る「鯛の瓦」が特徴



漁師たちが大漁を祈願

千手観音



海から波に揺られて漂着したと伝わる神秘の伝説

諸願成就（あらゆる願いを叶える）

千手観音 C

荒神社

荒神社 F

4年に一回、神楽の開催

神社は斜面になっていて、住民が神楽を見やすい地形になっています。地元の伝承では、神社の裏から高田氏の土地に通じる道があったとか・・・。



八大龍王



通称「りおうさま」

年間降水量が少ない茂平地区で、古くから雨乞いが行われていた場所。八大龍王とされる8個の石があり、石を動かすと龍王の怒りにふれて嵐が起こると伝えられています。

八大龍王 G

イナ取り（現在のグラウンド辺り）

夏休み明けの9月、茂平の土手は人波で溢れました。
海水が抜かれ浅くなった海へ、
遠方から自慢の竹カゴを積んで集まった
大人たちが一斉に飛び込みます。
大人も子供も泥まみれで「イナ」を追う、
笑い声弾む秋のお祭りでした。



地元民メモ
平地は全て干拓地です
海の名残を
感じてみて下さい

社稷

千手観音 C

社稷 恵比寿さん B

地元民メモ
県道3号線
まっすぐで広い道路は、
映画のワンシーンのよう

地元民メモ
東側の山は静かで
暮らしやすい

砂川改修記念碑

地域の人々の暮らしと田畑を守るため、川の流れそのものを大きく変えて新しく水路を通すという、当時としては一大国家事業並みの大工事が行われました。

砂川記念碑 D



塩崎神社

海の最強まもり神



ご祭神は豊玉彦命と豊玉姫命は、日本神話の「海幸山幸（うみさちやまさち）神話」に登場する、海の神（竜宮城の神様）です。新しく作った干拓地を、海の災害から守るために海の神様を呼んで祀ったと言われています。

稲荷神社

八幡神社の「御旅所（おたびしょ：祭礼の際、神輿が巡行の途中で休憩・宿泊する場所）」としての役割、あるいは地域の平穏を願って社が守られている場所となっています。

荒神社 F

社稷

見晴らし良し！

地元民メモ
八幡神社から
朝日が見えます

八幡神社 A

地元民メモ
茂平会館の桜が
キレイ



春は桜が綺麗です



塩崎神社
稲荷神社 H

八大龍王 G

H

E とんまん土手

茂平護岸工事
記念碑



とんまん土手

かつて海を遮っていた「苫無」の古い潮止め堤防跡

PICK UP! 02 石碑や土手
ぜひ足を運んで欲しい干拓の歴史

茂平護岸工事記念碑

海を陸地へと変えた、先人たちの血と汗の結晶

